



土づくりは 男の仕事だ、と 夫の確信。

井一・まゆみ
園芸農家

波野地区、標高八百メートルの高地にある農園だ。

以前は露地栽培だった。

「厳しかったです、作っても思うように売れなかったり

……」

火山の降灰や台風など、自然の脅威にも痛めつけられた。そういう困難を夫婦で乗り越えてきた歴史があり、いまはハウスが主だ。

筋金入りの生産者である夫・

井一さんは、土と向き合い、挑戦をつづける人。

独自のボカシ(発酵)肥料や忌避剤(虫除け)を開発し、有機農業を高め、「土づくりは男の仕事だ」と含蓄あることばをもらす。

妻・まゆみさんは、「農業がここから好きです」と断言する人。

トルコ桔梗などの花や、リーフレタスやセロリなどを手がける。

野菜を食べるのも作るのも大好きで、マミピーマンと名づけた細長いふしぎな形のピーマンの収穫も楽しんでいる。

マミは「まゆみ」のマミだ。

お嫁に来る前からあこがれていた阿蘇山。

「あの山を見ると、気持ちが大さくなつて、晴れ晴れします」



つくりごとは要らん、 母と娘たちの まごころだけで。

カフェもちとこ
森下エミ子

なんだろうこのアットホームな雰囲気は、と客が思うのも当然、母と娘たちで始め、母と娘たちで育てている店なのだ。

かつて市民農園の集会所であつた建物を改修し、カフェとして出発した。

「娘たちに相談したら、やろっよ、と言ってくれたので……」

母・森下エミ子さん(写真中央)は微笑みながら振り返る。

開業は平成二十四年だ。自家の畑で作る有機野菜が主役のメニュー、五百円ランチを母娘で決めた。

「つくりごとは要らん、できたしこ(できただけ)でいこうと……」

そのメニューが受けた。大評判だ。

おいしいし、母娘の息の合った明るさがいい。

店名(もちとこ)の由来となつた餅は、お母さんが搗く。

大きく開いた窓から、力強い山々が望める。これもサービスの。のびのび育てた四人の娘たちは母の自慢だ。

みんなの人生にこんな激励を送る。

「毎日がいいことばかりじゃないのだからね、いつも前を向いて進むこと、ただそれだけ」

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、

阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)

TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
Aso City

● 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

※掲載された内容は取材当時のものです。

2019.4 広報あそ

2

今月の主な内容・CONTENTS

- 4  144年の歴史に幕 — 山田小学校閉校
- 6 平成31年度予算
- 8 平成31年度施政方針
- 14 平成31年度阿蘇市役所職員配置のお知らせ
- 16 まちの話題
- 20 市役所からのお知らせ
- 27 阿蘇医療センター通信 Vol.42
- 28 人権作文 山部 蓮さん
- 29 図書館へ行こう！
- 30 カルデラ暮らし Vol.23
- 31 阿蘇サイクルツーリズム通信 Vol.20
- 32 暮らしの情報
- 34 子育て支援センター情報
- 35 お慶び ご寄付
- 36 故郷で働く 松山 直樹さん
- 37 地産地消クッキング 青たかな漬け巻き寿司
さわやかフレッシュマン 片嶋 涼さん
- 38 4月カレンダー

今月号の表紙

成田宗純さん・道陽さん兄弟(小倉)は、祖父の修一さんと父の芳明さんの3代にわたって山田小出身。「閉校になっても山田小で学んだことを忘れないでほしい」と芳明さん。地域と深く関わり続けた小学校はこれからも皆の心に残り続けます。



市役所からのお知らせ (20~26)

ニコニコりんく事業 学生服のリサイクルを支援します／後期高齢者医療保険料率と軽減措置のお知らせ／あん摩マッサージ・はりきゅう等施設利用券を交付しています／保育料の算定にかかる「寡婦(夫)控除のみなし適用」／乳幼児は医療費を全額助成します／小・中学生の医療費の一部を助成します／宅地復旧支援事業は事前に申し込みが必要です／コミュニティ助成事業で地域活動備品を整備／各種証明書のコンビニ交付が始まっています

暮らしの情報 (32~33)

熊本県特定(産業別)最低賃金が改定されました／森林を開発する場合は手続きが必要です／ストップ！農作業事故／介護に関する休暇は労働者の申し出で利用できます／障がいのある人を対象にした職業訓練生募集／「あか牛オーナー制度」を活用する農家を募集します／法律相談／年金出張相談／登記相談／心配ごと相談／あそ若者しごと相談会／消費生活相談／障がい者相談／認知症カフェ

夢を追いかける青少年の声を届けます —

夢を追いかけて

私は、家の仕事を継いで酪農家になりたいです。私の家では牛を育てていて、小さいときからお父さんがちちしばりをしたり、子牛にミルクをあげたりするのを見ていて、ずっと興味がありました。

小学生になってからは、土日に牧場の手伝いをするようになりました。ちちしばり、えさよせ、子牛へのミルクやり、牛の追い込みなどをします。子牛が生まれた瞬間を見たときは、今までで一番感動しました。酪農家になったら、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に仕事がしたいです。

山崎 真歩

やまさき まほ／阿蘇小学校・6年